

令和元年度 和歌山県海洋再生可能エネルギー (洋上風力発電)フォーラム 開催概要

項目	内容
開催日	令和2年2月24日(月)13:30~16:30 和歌山県田辺市内(和歌山県立情報交流センターBig・U)
参加者	計70名 (県民12名、市町職員5名、事業関係者19名 など)
プログラム	和歌山県の洋上風力発電の取り組みについて (和歌山県 商工観光労働部 企業政策局 産業技術政策課長)
	洋上風力発電の現状と今後の展望 (経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー一部 政策課 課長補佐 中西 拓也 氏)
	地域と洋上風力発電 (東京大学 先端科学技術研究センター附属産学連携 新エネルギー研究施設 特任准教授 飯田 誠 氏)

【参加者からの主な意見(当日)】

◆県の取り組みについて

- 騒音(低周波音)に問題がないのか明確にしてほしい。
- パブリックコメントの期間が短く、県民の意見を反映していると言えるのか。
- 再生可能エネルギーには一定の評価はしているが、今回のマップによって、観光業や他の投資の話にも影響することが心配である。

◆地域と洋上風力発電について

- ヨーロッパでの事例の話の中で、メンテナンス中の事故はあるのか、どのような事故事例があるのか。
- バードストライクの話の中で、画像認識で危険性が判断できるとあったが、危険性が高いと判断された場合、どのような対応を実施するのか。



当日の様子